

マケイン：「アメリカは、ウクライナのクラスター爆弾の使用に半ば責任がある」

February 6, 2015
RT (Russia Today)



アメリカは、ウクライナ東部でのウクライナ軍の、クラスター爆弾の無差別使用に半ば責任がある、と米上院議員ジョン・マケインが、ロシアのスポーツニク・ニュース局に話した。マケインによれば、それはアメリカがキエフに、他の兵器を送らなかったからだ。

「私は、もし我々が、彼らの必要とする兵器を送ってやっていたら、彼らはクラスター爆弾を使う必要を感じなかったと思う。だから責任の一端は我々にある」と、「兵役に関する上院委員会」の議長でもあるマケインは、スポーツニクに話した。

「人権ウォッチ」団体（HRW）は、キエフ軍が、ドネツクとルガンスクを含む南東部ウクライナの住宅地帯で、クラスター爆弾を使用したという9月の報告を確認した。このNGOはまた、クラスター弾薬は10月2日にもドネツクで配備され、赤十字国連委員会の職員が死んだことにも言及した。

クラスター爆弾の使用は、国連によって、不法であり国際人道法を破るものと宣告されている。114におよぶ国家が、このような兵器を禁止する国連条約に署名している。この兵器は何百というサブ弾薬から構成され、爆発するとあらゆる方向に飛び散り、その近くのあらゆる人間を深刻な危険にさらすものだ。

HRW は、キエフ軍が、禁止されているクラスター爆弾を、ウクライナ東部の市民たちに対して無差別に使用した事実を、キエフ政府が調査しないことを非難している。ウクライナ首相アルセニー・ヤツェニウクはこれに対し、「その証拠がない」と応じ、このグループは、2014年3月にウクライナから分離し、ロシアと再合体したクリミアに焦点を当てるべきだと言った。



参考記事：「HRW がキエフに対し、クラスター爆弾の使用を認め、東ウクライナの無差別殺人をやめるよう要請」 <http://rt.com/news/223699-ukraine-hrw-cluster-bombs/>

マケインはまた、アメリカがこの国に弾薬を供給する決定をしたときには、米軍アドバイザーがウクライナについてこなければならぬと強調した。「何人かの軍事アドバイザーが必要だが、多人数は必要ではなく、彼らが戦闘に加わるのではない。我々は戦闘員として米兵を配置するのでなく、ウクライナ人の自衛を助けることに当たる」とマケインは言った。

マケインは、ウクライナへの致命的兵器の援助を主張する政治家の一人だが、これはすでに実行されている物的供給や兵士の訓練の上に、ということで、昨年以來、ウクライナにはアメリカの軍事アドバイザーが入り込んでいる。

彼は、ウクライナは情報面のサポートのほかに、Javlin 対戦車ミサイル装置が必要だと主張した。

参考記事：「アメリカのキエフへの武器輸送は、ウクライナ危機への“答えではない”——ホワイトハウス・アドバイザー」 <http://rt.com/news/228795-us-ukraine-weapons-sanctions/>

ウクライナに致命的兵器を送るか否かの問題は、今週のアメリカの政治論争の的だった。月曜日、ホワイトハウスは、ウクライナ危機に対して「あらゆるオプション」を模索していると発表した。米 국무省報道官 Jen Psaki（サキ）は、「どういう援助の仕方がウクライナにとって最上なのかを検討し続けている。我々の焦点は、外交手段を通じて解決することであり、常に、交渉による危機解決の余地をつくり出すオプションを、比較検討している」と述べた。



一方で、副国家安全保障アドバイザー、ベン・ローズは、月曜日 CNN に対し、ウクライナ政府にこれ以上兵器を送ることは、この国の危機を解決するものではないと話した。「我々は、ウクライナの危機に対する答えは、単純にもっと兵器を注入することだと考えてはいない。」そうでなく、「最上の方法」は、ロシアにもっと多くの経済制裁を課することだ、とこのホワイトハウス高官は付け加えた。

さらに、ホワイトハウスの報道官ジョシュ・アーネストは、月曜のブリーフィングで、アメリカはキエフに、追加の資金を与えられるかどうか検討中だと述べた。

ウクライナの内戦は、5,000 人以上の市民の生命を奪っており、この国の経済に計り知れぬ損失を与えている。

ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、12 月、この紛争はキエフと反乱軍の直接の話し合いで解決しなければならないと言い、さらに、東南部で攻撃を開始したのは、キエフであって、地方民兵軍ではないと強調した。民兵軍は、2014 年 2 月の軍事クーデタの後、東部ウクライナで形成されたもので、それは地方人口のほとんどが、西側に後押しされた臨時政府を受け入れなかったからである。

1月には、数か月のあやうい休戦の後で、反政府軍とキエフ軍の間で暴力が激化した。休戦は、9月のミンスクでの和平会談の後、実行されていた。モスクワは、紛争の両当事者に対して、そこで合意された休戦協定を順守するように呼びかけている。

<https://www.youtube.com/watch?v=W9b9ab7HQYE>

デバルツェボ市が、最近、ウクライナ軍と反政府軍の激しい戦闘の舞台になっている。木曜日、ドネツクの民兵軍は、デバルツェボの市民が戦闘地域から退去できるように、2月6日午後9時から始まる休戦を提議した。キエフはこれに合意したと言われている。